（略）

全球測位衛星システム測量機	距離測定精度が次の式により計算した数値のもの $P＝10＋2×10^{-6}×D$（単位　ミリメートル） （この式において、Ｐは距離測定精度を、Ｄは測定距離を表すものとする。）
電子平板	トータルステーション又は全球測位衛星システム測量機により観測されたデータを処理する機能を有するもの
デジタルステレオ図化機	一対の空中写真から得られた像を実体視し、座標測定した結果を、保存及び表示することができるもの
イメージスキャナ	日本産業規格Ａ２の大きさの用紙を用いることができるもの
地理情報システム	地理情報及び付加情報をコンピュータ上で作成、保存、利用、管理、表示、検索、計算及び分析することができるもの
レーザスキャナ	点群データが取得できるもの

別表第十（第十条関係）

令和　年　測量士／測量士補　試験受験願書

×受験番号

私は、測量士／測量士補試験を受験したいので、測量法施行規則第10条第1項の規定により、写真及び関係書類を添えて提出します。

令和　年　月　日

国土地理院長　殿

氏名

都道府県コード
01 北海道
02 青森県
03 岩手県
04 宮城県
05 秋田県
06 山形県
07 福島県
08 茨城県
09 栃木県
10 群馬県
11 埼玉県
12 千葉県
13 東京都
14 神奈川県
15 新潟県
16 富山県
17 石川県
18 福井県
19 山梨県
20 長野県
21 岐阜県
22 静岡県
23 愛知県
24 三重県
25 滋賀県
26 京都府
27 大阪府
28 兵庫県
29 奈良県
30 和歌山県
31 鳥取県
32 島根県
33 岡山県
34 広島県
35 山口県
36 徳島県
37 香川県
38 愛媛県
39 高知県
40 福岡県
41 佐賀県
42 長崎県
43 熊本県
44 大分県
45 宮崎県
46 鹿児島県
47 沖縄県
48 日本以外の国籍

① 受験区分	測量士　1 測量士補　2　□	② 受験地	記入要領(7)の中から記入してください。□□
③ 氏名	カタカナで記入（姓と名の間は1文字空けてください。濁点及び半濁点も1文字としてください。）		
	漢字で記入（姓と名の間は1文字空けてください。）		
④ 生年月日	明治 1　大正 2　昭和 3　平成 4　令和 5　□　年□□　月□□　日□□	⑤ 性別	男 1　女 2　□
⑥ 本籍コード □□	⑦ 現住所コード □□	⑧ 職業 □□	⑨ 学歴 □　⑩ 測量士補の登録 □
ふりがな 現住所			
試験の連絡先	（現住所と異なる場合のみ記入してください。） 電話　（　）　E-mail		

（記入要領）

標準字体

ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ

マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ン ゛ ゜ ー 　 　 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

(1) 標準字体を手本にしてください。
(2) 枠からはみだしたり、小さすぎたりしないでください。
(3) 筆記用具は鉛筆（ＨＢ）又はシャープペンシル（0.5ｍｍ、ＨＢ）を使用してください。
(4) 間違えた場合は、消しゴムできれいに消してから記入してください。
(5) ×印の欄は、記入しないでください。
(6) ①受験区分の欄は、測量士試験の受験者は「１」、測量士補試験の受験者は「２」を記入してください。
(7) ②受験地の欄は、次の中から希望する受験地の番号を記入してください。

［　　　　　　　　　　　　］

(8) ③氏名の欄は、戸籍に記載されている文字を用いて楷書で記入してください。なお、□の枠数を超える場合は記入できるところまで記入してください。
(9) ④生年月日の欄は、最初の□は該当する番号を記入し、年月日が一桁の場合は十の位に「０」を記入してください。
(10) ⑤性別の欄は、該当する番号を記入してください。
(11) ⑥本籍コードの欄は、該当する都道府県コード欄の番号を記入してください。
(12) ⑦現住所コードの欄は、該当する都道府県コード欄の番号を記入してください。
(13) ⑧職業の欄は、次の中から該当する番号を記入してください。
01 測量業　02 建設コンサルタント業　03 地質調査業　04 建設業　05 運輸・通信業
06 製造業　07 電気業・ガス業　08 不動産業　09 国家公務員（教員を除く）
10 地方公務員（教員を除く）　11 教員　12 学生　13 その他
(14) ⑨学歴の欄は、次の中から該当する最終卒業の学校の番号を記入してください。ただし、学生の場合は在学中の学校の番号を記入してください。
1. 大学院　2. 大　学　3. 短期大学　4. 高等専門学校　5. 高等学校
6. 測量法第五十条第三号又は第四号に規定する測量に関する専門の養成施設
7. 専修・各種学校（6. を除く）　8. その他
(15) ⑩測量士補の登録の欄は、測量士試験の受験者で既に測量士補として登録を受けている者は「１」を記入し、登録を受けていない者は空欄にしてください。

＊この受験願書は、機械で読み取りますので、汚したり、折ったり、丸めたりしないでください。

（用紙の寸法は、日本産業規格Ａ４とする。）

（略）

汎(はん)地球測位システム測量機	距離測定精度が次の式により計算した数値のもの $P＝10＋2×10^{-6}×D$（単位　ミリメートル） （この式において、Ｐは距離測定精度を、Ｄは測定距離を表すものとする。）
平板	三脚に固定し、かつ、地形地物の測定結果を描くための用紙をはり付けることができるもの
電子平板	セオドライト（距離を測定する機能を備えたものに限る。）又は汎(はん)地球測位システム測量機により観測されたデータを処理する機能を有するもの
反射式実体鏡	一対の空中写真を反射鏡、プリズム等により反射させて得られた像を実体視できるもの
図化機又は解析図化機	一対の空中写真から得られた像を実体視し、座標測定した結果を、用紙等に描くことができるもの
スキャナ ディジタイザ	日本産業規格Ａ２の大きさの用紙を用いることができるもの
プロッタ	日本産業規格Ａ２の大きさの用紙に情報を出力することができるもの
パーソナルコンピュータ	測量に関する計算及び図形処理を行うことができるもの

別表第十（第十条関係）

令和　年　測量士／測量士補　試験受験願書

×受験番号

私は、測量士／測量士補試験を受験したいので、測量法施行令第22条の規定により、写真及び関係書類を添えて提出します。

令和　年　月　日

国土地理院長　殿

氏名

都道府県コード
01 北海道
02 青森県
03 岩手県
04 宮城県
05 秋田県
06 山形県
07 福島県
08 茨城県
09 栃木県
10 群馬県
11 埼玉県
12 千葉県
13 東京都
14 神奈川県
15 新潟県
16 富山県
17 石川県
18 福井県
19 山梨県
20 長野県
21 岐阜県
22 静岡県
23 愛知県
24 三重県
25 滋賀県
26 京都府
27 大阪府
28 兵庫県
29 奈良県
30 和歌山県
31 鳥取県
32 島根県
33 岡山県
34 広島県
35 山口県
36 徳島県
37 香川県
38 愛媛県
39 高知県
40 福岡県
41 佐賀県
42 長崎県
43 熊本県
44 大分県
45 宮崎県
46 鹿児島県
47 沖縄県
48 日本以外の国籍

① 受験区分	測量士　1 測量士補　2　□	② 受験地	記入要領(7)の中から記入してください。□□
③ 氏名	カタカナで記入（姓と名の間は1文字空けてください。濁点及び半濁点も1文字としてください。）		
	漢字で記入（姓と名の間は1文字空けてください。）		
④ 生年月日	明治 1　大正 2　昭和 3　平成 4　令和 5　□　年□□　月□□　日□□	⑤ 性別	男 1　女 2　□
⑥ 本籍コード □□	⑦ 現住所コード □□	⑧ 職業 □□	⑨ 学歴 □　⑩ 測量士補の登録 □
ふりがな 現住所			
試験の連絡先	（現住所と異なる場合のみ記入してください。） 電話　（　）		

（記入要領）

標準字体

ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ

マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ン ゛ ゜ ー 　 　 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

(1) 標準字体を手本にしてください。
(2) 枠からはみだしたり、小さすぎたりしないでください。
(3) 筆記用具は鉛筆（ＨＢ）又はシャープペンシル（0.5ｍｍ、ＨＢ）を使用してください。
(4) 間違えた場合は、消しゴムできれいに消してから記入してください。
(5) ×印の欄は、記入しないでください。
(6) ①受験区分の欄は、測量士試験の受験者は「１」、測量士補試験の受験者は「２」を記入してください。
(7) ②受験地の欄は、次の中から希望する受験地の番号を記入してください。

［　　　　　　　　　　　　］

(8) ③氏名の欄は、戸籍に記載されている文字を用いてかい書で記入してください。なお、□の枠数を超える場合は記入できるところまで記入してください。
(9) ④生年月日の欄は、最初の□は該当する番号を記入し、年月日が一桁の場合は十の位に「０」を記入してください。
(10) ⑤性別の欄は、該当する番号を記入してください。
(11) ⑥本籍コードの欄は、該当する都道府県コード欄の番号を記入してください。
(12) ⑦現住所コードの欄は、該当する都道府県コード欄の番号を記入してください。
(13) ⑧職業の欄は、次の中から該当する番号を記入してください。
01 測量業　02 建設コンサルタント業　03 地質調査業　04 建設業　05 運輸・通信業
06 製造業　07 電気業・ガス業　08 不動産業　09 国家公務員（教員を除く）
10 地方公務員（教員を除く）　11 教員　12 学生　13 その他
(14) ⑨学歴の欄は、次の中から該当する最終卒業の学校の番号を記入してください。ただし、学生の場合は在学中の学校の番号を記入してください。
1. 大学院　2. 大　学　3. 短期大学　4. 高等専門学校　5. 高等学校
6. 測量法第五十条第三号又は第四号に規定する測量に関する専門の養成施設
7. 専修・各種学校（6. を除く）　8. その他
(15) ⑩測量士補の登録の欄は、測量士試験の受験者で既に測量士補として登録を受けている者は「１」を記入し、登録を受けていない者は空欄にしてください。

＊この受験願書は、機械で読み取りますので、汚したり、折ったり、丸めたりしないでください。

（用紙の寸法は、日本産業規格Ａ４とする。）